

| 科目コード | ナンバリング | 単位数 | 学期 | 授業区分 | 科目区分 | 履修区分 | 配当学年 |
|--------|-----------------|-----|----|---|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 330012 | X-21-B-3-330012 | | | 【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース | 専門 専門 専門 × × × | 選択必修 選択必修 選択 × × × | 1年 2年 2年 × × × |
| 授業科目 | 担当教員 | 2 | 前期 | | | | |
| 日韓朝関係論 | 吉澤 文寿 | | | | | | |

授業目的

この講義は「日本史（近現代）」および「韓国朝鮮史概説」の内容をふまえて、植民地支配と南北分断の問題をテーマとして、おもに1945年から現在までの日本と南北朝鮮との関係を考察することにより、朝鮮現代史および日朝関係史を連関させて理解することを目指す。

各回の授業内容

| | | | |
|-----|---|------|---|
| 第1回 | 【授】 講義の概要、レポート作成および参考文献案内 【前・後】 伝達事項の確認（予習・復習各2時間） | 第9回 | 【授】 1970・80年代の日本と南北朝鮮～経済と人権の問題を中心に 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第2回 | 【授】 問題の所在（1）…植民地支配をどのように問うのか 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第10回 | 【授】 在日朝鮮人と日本社会～1970・80年代を中心 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第3回 | 【授】 問題の所在（2-1）…朝鮮の「解放」、そして分断体制の成立と日本 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第11回 | 【授】 脱冷戦と南北対話の進展（1987年～現在） 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第4回 | 【授】 問題の所在（2-2）…朝鮮戦争、そして日本との関係について 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第12回 | 【授】 日韓関係における「過去清算」問題 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第5回 | 【授】 問題の所在（3）…在日朝鮮人の形成（1945～1952年） 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第13回 | 【授】 日朝国交正常化交渉 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第6回 | 【授】 在日朝鮮人帰国事業～1950年代の日朝関係 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第14回 | 【授】 脱冷戦期の在日朝鮮人と日本社会 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第7回 | 【授】 日韓国交正常化（1965年） 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第15回 | 【授】 まとめ…現在の日本と南北朝鮮との関係と私たちの課題 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） |
| 第8回 | 【授】 米中和解と南北対話の開始～南北共同声明（1972年）をめぐる展開を中心に 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間） | 第16回 | 【授】 定期試験（レポート提出） 【前・後】 レポート作成（予習・復習各2時間） |

成績評価方法

期末レポート（70%）および講義ごとに配布するコメントカードおよび講義代替レポート（30%）により成績評価を行う。

コメントカードは授業中に公表し、講評を加える。

上記15回の講義のうち、1回分を課題レポートに代替する。詳細は授業中に指示する。

教科書・参考書

教科書は使用しない。講義時にレジュメを配布する。

受講に当たっての留意事項

本講義を理解する上で、「日本史（近現代）」および「韓国朝鮮史概説」を履修しておくことが望ましい。

| | | |
|--------------------|----------------|-------------------------------------|
| 実務経験のある教員による授業科目有無 | 実務経験と授業科目との関連性 | アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施 |
| × | | × |

学習到達目標

受講者が日本と南北朝鮮との関係の概要を習得したうえで、1) みずからの関心に即してテーマを設定し、2) そのテーマに即した文献および資料を収集および分析し、3) 一定の結論に到達できることを目指す。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習